



2022年10月24日

各位

会社名 株式会社 ヤマナカ
 代表者名 代表取締役社長 中野 義久
 (コード番号 8190 名証メイン)
 問合せ先責任者 企画ユニット長 中野 雄介
 (電話番号 052-413-7232)

業績予想の修正及び剰余金の配当（中間配当）に関するお知らせ

当社は、2022年4月25日に公表した通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

また、2022年10月24日開催の取締役会において、下記のとおり2022年9月20日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）を行うことを決議いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

2023年3月期通期連結業績予想数値の修正（2022年3月21日～2023年3月20日）

| | 営業収益 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-------------------------|---------------|--------------|--------------|-------------------------|----------------|
| 前回発表予想（A） | 百万円 90,500 | 百万円 1,300 | 百万円 1,400 | 百万円 900 | 円 銭 46.98 |
| 今回修正予想（B） | 88,000 | 300 | 450 | 250 | 13.02 |
| 増減額（B－A） | △ 2,500 | △ 1,000 | △ 950 | △ 650 | |
| 増減率（%） | △ 2.8 | △ 76.9 | △ 67.9 | △ 72.2 | |
| （ご参考）前期実績 （2022年3月期） | 96,382 | 1,072 | 1,220 | 721 | 37.66 |

修正の理由

2023年3月期通期連結業績予想について、売上高に営業収入を加えた営業収益は、前期の巣ごもり需要の反動や物価高騰による節約志向のなか、当初予想を下回る見込みとなりました。

利益面では、商品ロス増加や値入低下により粗利益高が十分確保できなかったこと、またエネルギー価格高騰による水道光熱費の増加が今後も見込まれることなどから、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は当初予想を下回る見込みとなりました。

2. 剰余金の配当（中間配当）について

配当内容

| | 決 定 額 | 直近の配当予想 (2022年4月25日公表) | 前期実績 (2022年3月期) |
|----------|------------|---------------------------|--------------------|
| 基 準 日 | 2022年9月20日 | 2022年9月20日 | 2021年9月20日 |
| 1株当たり配当金 | 4円 | 6円 | 5円 |
| 配当金総額 | 77百万円 | — | 96百万円 |
| 効力発生日 | 2022年12月1日 | — | 2021年12月1日 |
| 配 当 原 資 | 利益剰余金 | — | 利益剰余金 |

修正の理由

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営施策の一つとして位置づけ、安定的な配当を継続して行うことを基本としつつ、各事業年度の業績と将来の事業展開を勘案し、業績に応じた適正な利益配分を行うことを基本方針としております。

この基本方針を踏まえ、第2四半期累計期間の業績および今後の業績見通しを検討した結果、中間配当を1株当たり4円に修正いたします。なお、2023年3月期の期末配当予想につきましては、引き続き未定とさせていただきます。

- (注) 1. 上記の予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる場合があります。
2. 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を2023年3月期の期首から適用しており、前期実績については、当該基準適用前の実績値を記載しております。

以 上